

問一 本文中の（惜し）を適する形にせよ。（三点）

かはらんと祈る命は（惜し）できても別れんことぞかなしき

「惜し」はシク活用の形容詞

活用は：

惜し （惜） しく しく しき しけれ
しから しっかり ○ しかる ○ しけれ ↑補助活用

「で」は「打消しの接続詞」で未然形活用（打消しだから…）である

未然形は「しく」または「しから」

和歌であることを考えると：「（惜し）で」は五文字が適當

したがって：「惜しからで」がよい

【答え 惜しから】

問二 傍線部①②③の「ん」の文法的意味について、適するものを一つずつ選べ。（各三点 計九点）

一、意志 二、推量 三、婉曲 四、適當 五、命令

「む」の識別

- 一、意志（～しよう） ……主語が一人称
- 二、推量（～だろう） ……主語が三人称
- 三、適當・勧誘（～するのがよい） ……主語が二人称。（会話文限定）
- 四、仮定・婉曲（～したら、～ような） ……体言に接続 ↑注目！

①かはらんと祈る命は（惜し）できても別れんことぞかなしき

「…と」につながるから、「体言接続」とも取れるが…ここはシンプルに文脈判断で！

母が、死にかけている子と「変わってあげよう」と言う場面

母の「一人称」と見て…「意志」を選択！

【答え 一】

②かはらんと祈る命は（惜し）できても別れんことぞかなしき

これぞ「体言接続」！

別れん「こと」…体言である「こと」に接続↓「婉曲・仮定」である

「別れるようなこと」がよいから、婉曲が適切！

【答え 三】

③我生きたりとも、母を失ひては何のいさみかあらん。

文末だから「体言接続」はありえない。もちろん会話文でもない。

「意志」か「推量」↓主語で認識

「母を失ってしまったって、どんないさみ（気力や勇氣）があるでしょうか、いやない」

「いさみ」が主語…つまり三人称だ！よって、「推量」が適当！

【答え 二】

問三

傍線部㉑の本文中の意味として適するものを選択肢の中から一つずつ選べ。（各三点 計六点）

- ㉑のみ
- 一、頼れる人
 - 二、友人や知人
 - 三、お願いする医者
 - 四、助かる見込み
 - 五、祈祷してくれる人

重病をうけて、たのみすくなく見えければ、母赤染右衛門、住吉に詣でて、七日籠りて、

「このたび助かりがたくは、すみやかにわが命に召しかふべし」

「頼み」は重要単語

「頼りにする人や物」である

選択肢はどれも当てはまりやすそう…

文脈判断してみよう

- ・息子が重病になった。
- ・母親は「たのみ」が少なくなったように見えた。
- ・そこで住吉神社に詣でて七日間籠って神頼みをした。

さて…どの選択肢がよさげかな？

一、三が考えられるが、もしこのどちらかが正解であったとしてみよう
すると、どちらも絞り切れない！

「一つ選ばなければ」という都合で考えれば、これらはどちらも捨てて、「四」を選ぶのがよい、ということになる。

また、母の祈った内容からも根拠が見て取れる。

- ・このたび（我が子は）助かるのが難しい。
- ・すぐに私の命と取り替えてください。

ここからも「人」ではなく「物（＝見込み）」を指しているのがわかる。

こういった選び方もある。難易度の高い模試や受験でよく見られる手法である。覚えておこう。

【答え 四】

①さても 一、どちらにしても 二、どうしても 三、どこにいても

四、だれであつても 五、本当に

「さても」も重要単語

①そうであつても ②そのまま ③ところで ④なんとまあ

選択肢のどれもあてはまるものがなさそう…

近いものを探そう

文脈を追ってみよう

かはらんと祈る命は惜しからでさても別れんことぞかなしき

(死にかけているわが子と) 変わつてあげようと、祈っています。私の命は惜しくもありませんから…そうであつたとしても、別れることになるわけですから、それを考えると悲しく

「そうであつたとしても」とは、「母が身代わりに死んだとしても…」と言う解釈になる。したがって「どちらにしても」が適切であろう。

【答え 一】

問四 本文中の(あ)は同じ語句が入る。適するものを次の中から一つ選べ。(四点)

一、ぞ 二、こそ 三、や 四、なむ 五、しも

かく詠みて奉りけるに、神感(あ)ありけん、挙周が病よくなりけり。

神あはれみて御たすけ(あ)ありけん、母子ともに事ゆるぎなく侍りけり。

両文とも対句のように、同じような形式を取っているところがポイント!

訳を見てみよう!

(右)「このように読んで献上したところ、神も感ずるところがあつたのだろうか、挙周の病はよくなつた。」

(左)「神は哀れに思つてお助けなさつたのだろうか、母子ともに何事もございませんでしたとき。」

この「ありけん」に係りながら、疑問の意味を付している…これは「**疑問の係助詞**」であろう!

「か」か「や」である。選択肢には「や」のみ存在。それが正解だ。

【答え 三】

問五

傍線部①を現代語訳せよ。(九点)

「このたび助かりがたくは、すみやかにわが命に召しかふべし」

「がたく」は「難し」：難しい

「がたくは」は、「もしよならば」とするとよい

「べし」は命令や「適当(〓〓するのがよい)」が妥当

これらを踏まえて現代語訳してみよう

【 答え (我が子は) 助かるのが難しければ、すぐに私の命と我が子の命を取り替えてください】

採点基準

「助かるのが難しい」が書けていて二点。

「よば」と仮定接続できていて二点。

「べし」の訳ができていて三点。

よしてください、よするとよい、など近い表現であればよい

減点事項：意味の通る日本語の文章になっていない場合は二点を最高に減点する。

問六

傍線部②について、「たすけ」た理由とその結果を、母子の行動や思いが具体的にわかるようにして、六十字程度で説明せよ。句読点は一字に含む。(十三点)

「文字制限のある(三十字以上など長い物、十字や二十字など短いものは除く)記述問題の解き方」
×適当に訳しながら記述：絶対ダメ!!

なぜ???

- ・文字数がなかなか合わない↓何度も書き直す
- ・よくわからない日本語になりがち
- ・ズレた回答になってしまっても気付かない。
- ・時間がかかる↓その上得点率が激低!
- ・その結果、部分点が引かれまくって、超低得点、またはゼロ点…
- ・そして、もれなく苦手意識を積み重ねる
- ・負のループが止まらない!

そんな先輩、山のようにいます!

あなたもそうならないように、ここで必勝法を身につけよう!

やり方は簡単!

- ・訳を超適当に、超簡単に箇条書きにする(わからないところは飛ばしマクリでよし!回答作成するときに必要になったら丁寧に訳しなおせばよいから)
- ・その中から答えになりそうな部分をピックアップして拾ってきて…

・文字数が合うようにまとめればよい！
これだけ！

「簡条書き」がポイントね！

それをするだけで、驚くほど速く、そして正確に回答を作成できるぞ！

ではやってみよう！

- ・息子が重病で死にかけた
- ・母は住吉神社で神に祈った
- ・「私の命に代えて息子をお助けください」
- ・すると息子は治った。

・母の行動を知った息子は大いに嘆いて、同じように神社に行つて祈った

・「もし私が治ったことで母の命が終わってしまうのであれば、今すぐ私を元に戻し母をお助けください」

・母子のやり取りを見て、神は哀れに思い助けたのか、親子ともども元気になった。
これを

①文字数

②問われている内容

とキツチリ合うように(②がポイント！書いている途中で、どんどんズレていくからね！)まとめよう！

「○○字程度」はどれくらいが許容範囲??

五十〜七十字であろう。七十を超えると怖いね！

【 答え ともに自分の命を差し出してでも命を助けようと祈る母子の絆を、神は哀れに思ったため、二人を助け親子は何事もなく過ごした。(五十九字) 】

採点基準

「母も子も、自分の命を捨てて相手の命を救おうとした」ことが書かれていて四点。(母…二点、子…二点 計四点)

「母子の様子(や絆など)をあわれに思った」が書けていて三点。

「(その結果)何ごともなく(過ごすところができた)」が書けていて三点。

「(から(の)ため)」と理由がわかるような表現が書けていて二点。

加点事項…まとまった意味の通る日本語の文になっていて一点。

(あくまでも加点事項。他の基準がほとんど×ならば加点せず)

減点事項…五十字を下回っていたら、「少なすぎ」で三点減点

七十〜七十五字は「多すぎ」で減点三点。

七十五字超えは×

問七

本文は「古今著聞集」の一節である。当作品とジャンルが異なるものを二つ選べ。(各三点 計六点)

一、沙石集

二、玉勝間

三、十訓抄

四、日本霊異記

五、宇治拾遺物語

六、陸奥話記

七、今昔物語集

作品知識問題。全統は出やすいから注意しておこう！

「古今著聞集」は「説話集」

一、沙石集：鎌倉時代中期の仏教説話集

二、玉勝間：江戸時代末期の随筆（本居宣長）…○

三、十訓抄：鎌倉時代中期の説話集

四、日本霊異記：平安時代初期の説話集（日本最古）

五、宇治拾遺物語：鎌倉時代前期の説話集

六、陸奥話記：平安時代中期の軍記物語…○

七、今昔物語集：平安時代末期の説話集

【答え 二、六】

作品知識の学習の仕方

- ・あまり力を入れる必要はない。
- ・一年の今の時期なら、「全統」であってもそんなに難易度は高い問題はない。
- ・代表的なものを見ておくだけでよい。
- ・例えば：ジャンルに分けていくつか代表的な名前をプチ暗記する
 - 物語、歌物語、軍記物、説話集、随筆…などを各五〜六作品の名前だけ覚えておく
- ・ネットで「軍記物 一覧」などと検索するとたくさん出てくる。
- ・模試のたびにやっていると、徐々に知識が定着する。
- ・三年になってから慌てても、他の教科に追われ、ほとんど学習する時間が持てない。
- ・今のうちに少しずつ無理なくやっておこう。